

令和8年度第1回　さいたま市文化財保存活用地域計画運営協議会

《次　第》

日時　令和8年6月25日（木）
午前10時00分から
会場　さいたま市役所本庁舎2階
特別会議室

- 1　開会
- 2　委嘱状交付
- 3　部長挨拶
- 4　協議
（ア）文化財保存活用地域計画の進捗状況について
（イ）その他
- 5　閉会

【配布資料】

次第
出席者名簿
席次表
資料1　文化財保存活用地域計画の進捗状況
参考資料　「北区の歴史文化遺産を探そう」散策ガイド

令和8年度第1回 さいたま市文化財保存活用地域計画運営協議会

出席者名簿

【委員】

敬称略・五十音順

所 属 等	分 野	氏 名
公益社団法人さいたま観光国際協会事務局長	観光	大和田 昌宏
宗教法人浄国寺代表役員	文化財所有者	川端 信行
さいたま商工会議所 街づくり・観光委員会 副委員長 岩槻支部 支部長	商工	小宮 康一郎
芝浦工業大学 システム理工学部建築・環境課程 教授	まちづくり	作山 康
市民公募	公募委員	花井 紀子
宗教法人氷川神社権宮司	文化財所有者	東角井 真臣
芝浦工業大学名誉教授	建造物	渡辺 洋子

【委員・欠席者】

敬称略・五十音順

所 属 等	分 野	氏 名
市民公募	公募委員	木本 和男
淑徳大学人文学部兼任講師・元さいたま市教育委員会職員	地方史研究家	野尻 靖
大東文化大学 文学部 歴史文化学科 教授	歴史・観光歴史学	宮瀧 交二

【事務局】

所 属 名	職 名	氏 名
生涯学習部	部長	深津 健太郎
文化財保護課	課長	金子 洋幸
文化財保護課 文化財保護係	課長補佐兼係長	磨田 顕寛
文化財保護課 史跡整備係	課長補佐兼係長	井上 拓巳
文化財保護課 文化財保護係	主査	栗原 達郎
文化財保護課 文化財保護係	主査	原田 信弘
文化財保護課 文化財保護係	主任	石田 留美子

令和8年度第1回 さいたま市文化財保存活用地域計画運営協議会

席次表

渡辺 洋子 副会長		作山 康 会長	
花井 紀子 様			大和田 昌宏 様
東角井 真臣 様			川端 信行 様
			小宮 康一郎 様

事務局

文化財保護課課長補佐
兼文化財保護係長

文化財保護課長

生涯学習部長

文化財保護課課長補佐
兼史跡整備係長

課題1 さがすに関する課題

方針1 さがす

措置1	事業名	事業概要	財源	取組主体					事業計画期間				
				行政	専門家	市民	団体	所有者	R6	R7	R8	R9	R10 ～ R12
1	建造物調査	未調査建造物を順次調査します	市	○	○	○	○	○		新			
		(実施予定) 把握調査を実施した建造物1件の調査を文化財保護審議会委員に依頼します。											
3	民俗文化財調査	初山や火渡りなどの行事を順次調査します	市	○	○	○	○	○		新			
		(実施予定) 初山や火渡りの把握調査を継続します。											
5	市民団体との調査	市民団体と連携し、歴史文化遺産の情報共有や掘り起こしを行います	市	○	△	○	○	○			新		
		(実施予定) 市民団体と連携し、水塚の調査を行います。											
6	ワークショップの開催	市民との協働による歴史文化遺産の掘り起こしを行います	市	○	△	○	○	△	新				
		(実施予定) 北区外1区で開催します。											
8	古文書の整理	文化財指定古文書の員数を確認します	市	○	○		△	△		新			
		(実施予定) 市指定有形文化財（古文書）のうち氷川神社に関連した文書の員数の確認に着手します。											
10	真福寺貝塚発掘調査	国指定史跡「真福寺貝塚」の整備のための内容確認調査を実施します	国市	○	○		△	○	継				
		(実施予定) 国指定史跡「真福寺貝塚」の内容確認調査を継続します。											
11	歴史文化遺産のデータベース化（指定文化財）	調査記録・修理記録等を含む指定文化財の一元的なデータベースについて検討し、構築します	市	○			△	△		新			
		(実施予定) 歴史文化遺産のデータベース化に向けた記録を整理します。											
114	大宮夏祭り「山車」調査	宮町、土手町等、大宮夏祭りに出す「山車」の調査を実施します	市	○	○		○	○	新				
		(実施予定) 大宮夏祭りの「山車」の調査を継続します。											
131	浦和画家作品等調査	浦和画家の作品やアトリエ等の調査を実施します	市	○	○	○	○	△	新				
		(実施予定) 浦和画家の作品の調査を実施します。											
138	岩槻城の総合調査	岩槻城に関する総合調査を開始します	市	○	○	○	○				新		
		(実施予定) 岩槻城の絵図の把握調査を実施します。											

	139	江戸木目込人形制作者調査	県指定無形文化財「江戸木目込人形」の技術保持者を調査します	市	○	○		○	△		新		
			(実施予定) 県指定無形文化財「江戸木目込人形」の保存団体に調査を実施します。										
	159	お囃子調査	市内の囃子団体の調査を実施します	市	○	○	○	○	△		新		
			(実施予定) 大宮夏祭りに参加する囃子団体の調査を実施します。										
	164	水塚調査	荒川沿いに点在する水塚の調査を実施します	市	○	○	○	○	△		新		
			(実施予定) 水塚の把握調査を行います。										

課題 2 いかすに関する課題

方針 2 いかす

措置2	事業名	事業概要	取組主体						事業計画期間				
			財源	行政	専門家	市民	団体	所有者	R6	R7	R8	R9	R10 ～ R12
29	動画配信の拡充	歴史文化遺産の動画コンテンツを作成・配信します (実施予定) お囃子の動画コンテンツを作成・配信します。	市	○		△	○	△		再			
38	説明板の多言語化	二次元コードによる既存説明板の多言語化を実施します (実施予定) 既存説明板の更新時に多言語化を実施します。	市	○		△	△	△		新			
39	観光事業との連携	観光事業と連携して歴史文化遺産を広く紹介します (実施予定) さいたま観光国際協会と連携して、無形民俗文化財の紹介を検討します。	市民	○		○	△	△			新		
40	DXの導入の検討	A R・V R等を使った魅力あるツールの検討を行います (実施予定) 歴史文化遺産のデータベース化において導入を検討します。	市	○	○	○	○	△	新				
46	学習教材の開発	小学校副読本に合わせた資料映像を作成するなど、一人一台パソコンを活用します (実施予定) 歴史文化遺産のデータベース化において活用を検討します。	市	○		○				新			
100	見沼通船堀開削300年記念事業の検討	国指定史跡「見沼通船堀」開削300年の周年事業を検討します (実施予定) 周年事業の内容について、検討のための打ち合わせを行います。	市	○	△	○	○	○	新				
153	真福寺貝塚発掘調査100周年記念事業	最初の発掘調査から100周年となる国指定史跡「真福寺貝塚」で関連事業を実施します (実施予定) 国指定史跡「真福寺貝塚」の発掘調査開始100周年を記念したシンポジウムを開催します。	国市	○	△	△	△	○			新		
154	関連文化財群のパンフレット発行	関連文化財群のテーマに沿ったパンフレットを発行します (実施予定) 構成歴史文化遺産一覧のうち、指定文化財について記録を整理します。	市	○			△	△		新			
161	小中学校への伝統芸能の出前授業	小中学校での伝統芸能の出前授業を行います (実施予定) 小中学校での伝統芸能の出前授業の実施状況の把握調査を行います。	市民	○			○	○			再		

課題3 たすけあうに関する課題

方針3 たすけあう

措置3	事業名	事業概要	取組主体						事業計画期間				
			財源	行政	専門家	市民	団体	所有者	R6	R7	R8	R9	R10 ～ R12
48	支援協力体制の整備	人的・資金等の協力体制の整備を検討します	市	○		○	○	○	新				
		(実施予定) 田島ケ原サクラソウ自生地を守るための人的協力体制の整備を検討します。											
50	庁内連絡会の設置	庁内の連絡体制を整備します	市	○					新				
		(実施予定) 田島ケ原サクラソウ自生地再生事業に向けた庁内連絡会を設置します。											
51	所有者等の協議会の設置	担い手同士のネットワークを整備します	市	○	△		△	○	新				
		(実施予定) 過去に開催された所有者向け研修会を調査します。											
53	市民団体の活動把握	歴史文化遺産に関する活動団体の把握を行います	市	○		△	△		新				
		(実施予定) 各区コミュニティ課に登録している市民活動団体の把握調査を行います。											
54	市民団体との連携	活動を把握した市民団体と連携し、歴史文化遺産の情報共有や人材の育成を図ります	市民	○		○	○			新			
		(実施予定) 市民団体と連携し、水塚の調査を行います。											
58	茅葺職人人材育成	差茅などの一定の技術を保有する継承者を育成します	民	△	△	△	○			新			
		(実施予定) 埼玉茅葺会と連携し、講座等の開催を支援します。											
59	漆刷毛ヘアドネーション支援	漆刷毛の原材料とするためのヘアドネーションを支援します	市民	△		△		○		新			
		(実施予定) 選定保存技術保持者が亡くなり、継承者がヘアドネーションの受入を停止しているため中止しています。											

課題4 まもるに関する課題

方針4 まもる

措置4	事業名	事業概要	取組主体						事業計画期間				
			財源	行政	専門家	市民	団体	所有者	R6	R7	R8	R9	R10 ～ R12
60	文化財指定基準の整備	文化財の価値づけの基準を整備します (実施予定) 文化財保護審議会で委員から意見を聴取します。	市	○	○					新			
61	登録制度の検討	登録制度の導入・整備について検討します (実施予定) 他市町村に調査を実施します。	市	○	○						新		
63	見沼通船堀保存活用計画作成	国指定史跡「見沼通船堀」の保存活用計画を作成します (実施予定) 史跡見沼通船堀保存活用計画策定協議会を4回開催し、保存活用計画を策定・刊行します。	市	○	○	△	○	○	新				
69	指定文化財の修理候補リスト作成	現況調査後、修理が必要な指定文化財のリストを作成、更新します (実施予定) 作成したリスト掲載されている所有者に聞き取りを行い、随時更新します。	市	○	△		△	△	新				
72	市所有指定建造物修理計画の作成	市所有指定建造物について、修理計画を作成します (実施予定) 令和8年度中に完成を目指し、市所有指定建造物について、修理計画を作成中です。現在、さいたま市の各種計画との関連づけや過去の報告書の情報を整理しています。	市	○	△			○	新				
74	見沼通船堀再整備工事	国指定史跡「見沼通船堀」西縁園路及び案内板設置工事を実施します (実施予定) 「再整備サイン工事その2」の実施及び「再整備事業報告書」の刊行を行い、再整備事業を完了します。	国市	○	△		○	△	継				
76	田島ヶ原サクラソウ自生地保護増殖	国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」でのサクラソウの保護増殖を実施します (実施予定) サクラソウ自生地の乾燥化に対する対策を講じていきます。	国市	○	○	○		○			新		
84	財団等の助成金の活用	歴史文化遺産の修理等に係る助成金の申請を支援します (実施予定) 地域文化財総合活用事業を活用する団体への支援を実施します。	民	○				○	再				
85	クラウドファンディングの検討	保存・継承のためのクラウドファンディングの活用を検討します (実施予定) 「見沼通船堀」と民家園「旧武笠家表門」のクラウドファンディングを実施中です。また、「田島ヶ原サクラソウ自生地」のクラウドファンディングを実施します。	民	○				○	新				

	86	災害発生時の救出マニュアルの作成	災害時用に歴史文化遺産救出マニュアルを作成します (実施予定) 災害時用の歴史文化遺産救出マニュアルを作成します。	市	○	△		△	△		新			
	89	防災・防犯体制の整備	消防、警察、博物館、埼玉県文化財・博物館課との連携体制を整備します (実施予定) 文化財防火デーにより消防と連携します。また、サクラソウを守るために警察との連携を検討します。	市	○			△	△	新				
	94	博物館の在り方検討	市立博物館の移転等を検討します (進捗状況) 令和6年度に勉強会を2回、令和7年度に検討会を3回実施しました。令和8年度中に教育委員会の素案をまとめます。	市	○						継			
	105	民家園の建造物の修理計画作成	浦和くらしの博物館民家園内に所在する市指定有形文化財の建造物について、修理計画を作成します (実施予定) 令和8年度中に完成を目指し、民家園の建造物について、修理計画を作成中です。現在、さいたま市の各種計画との関連づけや過去の報告書の情報を整理しています。	市	○	△			○	新				
	106	旧坂東家住宅の修理計画作成	市指定有形文化財（建造物）「旧坂東家住宅」の修理計画を作成します (実施予定) 令和8年度中に完成を目指し、旧坂東家住宅について、修理計画を作成中です。現在、さいたま市の各種計画との関連づけや過去の報告書の情報を整理しています。	市	○	△			○	新				
	107	鈴木家住宅の在り方検討	国指定史跡「見沼通船堀」を構成する鈴木家住宅の活用方法を検討します (実施予定) 鈴木家住宅の活用方法について、所有者と協議を行います。	市	○	○		○	○		新			
	122	氷川参道の並木の保存活用の在り方検討	市指定天然記念物「氷川参道の並木」の在り方を検討します (実施予定) 関係者・関係機関を連携しながら調査を継続します。	市	○	○		○	○		新			
	137	郷土芸能の活動支援	市指定無形文化財「木遣歌」の活動支援を行います (実施予定) 市指定無形文化財「木遣歌」の活動支援のあり方について協議します。	民	△			○	○		新			

北区の

おたから

歴史文化遺産を

探そう🚲



散策ガイド

令和 3月22日 (日) 13:30~16:30
8年





① 安政7年（1860）の道標

・大成村の願主らにより建立された道標。西へ進むと普門院へ至り、与野、引又、川越、大山阿夫利神社、木曾御嶽山などへの道を案内していた。幕末の騒乱期、宿場町や城下町へ向かう人々の交通の目印となった石造道標である。



② 嘉永7年（1854）の八百姫大明神石碑（松の跡）

・福井県、京都府、新潟県など日本海側で生まれ人魚の肉を食べ 800 歳まで生きた比丘尼の伝承が各地に遺る。村を出た娘が、夫や知り合いと死別し尼（比丘尼）となり、全国を回り、松、椿、杉などの木を植えたなど様々な伝承を残す。この道が本来の古中山道と考えられる。不老ということから昭和30年代頃まで大宮区宮町の芸子さんらが信仰していた。



③ 天保３年(1832)の馬頭観音供養塔

・飼馬の冥福を祈り、旅人の交通安全を願って建立された供養塔。憤怒の表情をもつ馬頭観音が刻まれ、何がなんでも人々を救う強い決意と慈悲の心を表す。石塔には「せいふ（菖蒲）四り半（約 18 キロ）きさい（騎西）五り半（約 22 キロ）」とあり、道標の役割も果たしている。



④ 安永6年(1777)の地蔵菩薩・南無三界万霊塔兼道標

・正面に「大宮上尾」、側面に「原市道」と刻まれた道標を兼ねる供養塔。中山道から市場町として栄えた原市への分岐点を示す。「南無三界万霊」はあらゆる生命の霊を供養する仏教の言葉である。

※現在は、釈迦の入滅後、56 億 7 千万年後に誕生するといわれる弥勒菩薩を待つ無仏の時代であり、釈迦に代わって人々を救済するのが観音菩薩、地蔵菩薩とされる。

・観音菩薩: 苦しんでいる人の声を聴き、即座に救いに現れる「慈悲」の仏様です。状況に合わせて姿を変えるとされ、「馬頭観音」、「千手観音」、「十一面観音」など、様々な姿を見せる。

・地蔵菩薩: 弥勒菩薩が現れるまでの間、この世を任されているのが「お地蔵さん」。子供の守護神や、地獄に落ちた人さえ救うとされる、最も庶民に近い存在。

⑤ 石上神社



- ・江戸時代からホウソウの神様として霊験があり、今も信仰が続く。
- ・江戸時代から天然痘（疱瘡）の守護神として信仰されてきた神社。コロナ禍前まで毎年4月5日に氷川神社の神職による祈祷が行われ、無病息災を祈る行事が続いた。氏子総代によれば祭礼の復活の可能性も含め現在模索中。
- ・かつては糯米を集め、赤飯を子どもたちにふるまうなど疫病除けを願った。
- ・特に子どもたちの栄養不足、高熱に対する免疫が機能せず致死率 20%から50%とも・・・

⑥ 東大成の庚申塔



・元禄 10 年（1697）建立の庚申塔で、三猿と二鶏が浮彫りされている。庚申の夜に人の罪を告げる三尸虫を防ぐため、村人が徹夜で集まった庚申信仰の記念碑。

- ・石工は上尾平方の治兵衛と伝えられる。
- ・昭和 30 年代までは深夜まで庚申待ちが行われていたが、平成初期になると代表役員の持ち回りで、その自宅に日中集まって、飲食ふるまいあるいは持ち寄ったりして懇親を深める風習があった。現在は行われていない。

💡 庚申信仰とは・・・

・道教は「人の腹には三匹の虫が棲んでいる」といい、それを三尸虫（さんしちゅう）と呼ぶ。この三尸虫は隠している過去を知り、六十日毎に廻ってくる庚申の夜に、人が睡眠すると身体から抜け出し、その過去の罪悪を天帝に告げることで生命が縮まると信じられた。庚申の夜は三尸虫が天に昇らないよう夜通し、眠らず飲み食い、昔話を語っていた。

・青面金剛とは、もともと中国の道教・仏教・民間信仰が混ざって成立した寿命をつかさどる神で、寛文年間（1660 年代）頃から庚申の神として定まり、明治以降、神道の影響から猿田彦大神に入れ替わる。

⑦ 大宮競馬場建設記念碑



昭和 6 年（1931）に開設された大宮競馬場を記念する碑。芝 1600m の本格競馬場で、1935 年には売上全国 2 位を記録した。戦時下の軍需拡大により敷地がゼロ戦などを製造していた中島飛行機の工場用地となり、昭和 17 年（1942）に競馬場は廃止された。

